

6月定例議会の内容をわかりやすくお伝えします。

# 議会だより だいせん 73号

2023年7月25日発行  
鳥取県大山町議会



<https://www.daisen.jp/gikai/>



巻頭特集 どうする？これからの部活動

名和中ダンス部

特集

# どうする？ これからの部活動



中山中野球部3年生の濱邊くんは小学生時代から地域では存在を知られるピッチャーだった。この夏の総体でも合同チームの先発ピッチャーとして活躍中だ。

少子化の進行により、子どもたちの部活動はどのように変わっていくのか。本特集では、少子化の影響を受けながらも前向きに部活動に取り組む生徒たちの物語を紹介します。また、町の少子化の現状や令和5年度から配置された町のコーディネーターの視点、近隣自治体の取り組みについても、幅広く取材しました。

**まちの話題** **「まちの話題を募集します」** 新しいお店情報や、おすすめスポットの紹介、地域のイベント情報など、みなさんからの情報提供をお待ちしています。

## 3年生引退後、部員が1人に

### 中山中野球部

#### 3つの中学校で1つの野球チーム

中山中野球部は、毎日放課後に中学校のグラウンドで練習している。取材班が訪れた日は、4人の野球部員が顧問の先生とシートバッティングなどの練習に励んでいた。顧問の鷲見先生がチームの現状を説明してくれた。「2年前は

単独でチームを組んでいましたが、現在は部員が4人しかいないため、名和中学校と大山中学校の2校と合同チームを組んで大会に出場しています。合同チームでも、平日はそれぞれの学校単位で練習しているため、普段はこの4人で練習しています」。

少数精鋭の大山町合同チームは、



左から、濱邊くん、川崎くん、露木くん、金平くん。「後輩に何も残してやらんまま逃げるなよ（引退するなよ）」と、3年生には伝えていました」と鷲見先生。

の2年生だ。1年生の部員がいないため、この夏で先輩たちが引退すると、たった一人の部員となる。「前向きに取り組むつもりですが、先輩たちがいなくなるのは寂しいです。1人で練習すると言っても、正直、何をすればいいのかまだわかりません」と川崎くんは苦笑いをした。それでも、野球を続けたいかと尋ねると、彼はさわやかな笑顔で「好きなので」と答えた。「でも、1人で野球をするのはつまらないので、平日でも名和や大山中のメンバーと一緒に合同練習がしたいです」と率直な思いを打ち明けてくれた。



小学2年生の頃にスポーツ少年団に入り、野球を続けている川崎くん。野球を始めたきっかけは、道を歩いているときに見かけた中山中野球部のユニフォーム姿に憧れたから。

6月に行われた西部地区夏季総体で見事な勝利を収め、7月下旬の県総体へと駒を進めた。ランニングホームランで勝利に貢献した中山中野球部2年生の川崎颯志くんは「県大会でも勝ち上がり、先輩たちと一緒に中国大会に出場することが今の目標です」と力強く語ってくれた。

#### 「平日に合同練習したい」

川崎くんは中山中野球部で唯一



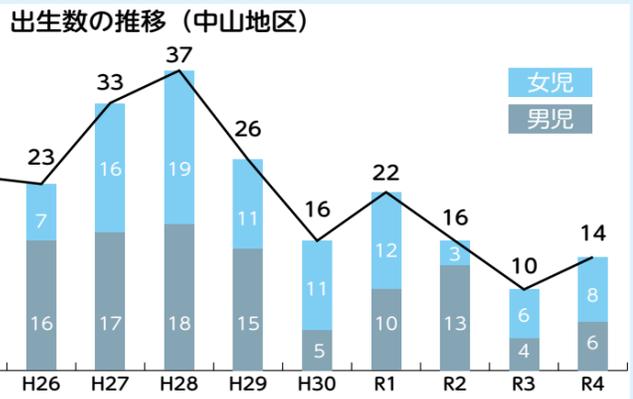
実戦形式の練習。一人になったら何ができるだろうか。

**まちの話題** **「納涼の夕べ(大山公民館)」** 8月16日(水)午後5時開始。ステージ発表、盆踊り、夜店など。午後8時から打ち上げ花火も上がります。問合せ:大山公民館(0859-53-3003)

# 【解説】中山地区で進む少子化

## 部活動への影響はどれくらい？

### 中山地区で顕著な少子化



過去10年を見ると、町が開発した分譲地「ナスパルタウン」に子育て世帯が続々と家を建てて移り住み、中山地区の出生数は一時的に増加した。しかし、現在は全ての区画が完売し、出生数も減少傾向に転じている。令和3年度には中山地区の出生数は10人となった。出生数から計算すると、現在、生徒数64人の中山中学校は、12年後には40人の中学校になる。

一般的には、中学校の生徒数が減少すると、学校全体が落ち着いた雰囲気となるなどの良い面もある一方で、学校行事は停滞し、子どもの人間関係の固定化などのデメリットも生じやすくなる。さらに、本稿の主題でも

### 令和5年度 大山町立中学校の部活動について

	大山中	名和中	中山中	備考
バレーボール(女子)	20	11	4	※名和・中山と合同
ソフトテニス(女子)	10			
卓球(女子)	11		1	
卓球(男子)	20			
野球	9	5	4	※大山・名和・中山と合同
サッカー	3	7		※大山・名和と合同
剣道	5	7	6	
陸上競技	24	23	23	
吹奏楽	13	15	10	
学科	12		21	※中山は兼部可
美術	9	38		
バスケット(女子)		6		
バスケット(男子)		5		
茶華道			12	※中山は兼部可
ダンス		8		
駅伝	※全校で希望者を募る			
柔道	1			
バドミントン	3	1		
スキー	4			※希望があれば、臨時に教員をつけて大会に参加。
水泳		2	2	
新体操		1		
体操				

各校とも個人競技の陸上部の人気の高い。また名和中は美術部が非常に多くの部員を集めている。

### 限られた選択肢しかない部活動

ある部活動にも大きな影響がでてくる。

各中学校の部活動の種類や部員数をみてみよう。(右下の表を参照)野球やサッカー、バレーなどのチームスポーツは、合同チームとなっていることがわかる。そのほか、25年前、記者が中

学生だったころに比べると、部活動の選択肢は少なくなっている。これは、少子化で1校あたりに配置される教員が少なくなっており、指導者の確保がむずかしいという事情がある。このように限られた選択肢ではあるが、大山町では、部活動は全員が加入する方針のため、「しかたなく何かの部活動に所属する」生徒たちがいることは想像に難くない。

# 「入りたい部活がなかったから、自分たちでつくりました」

## 名和中ダンス部

少子化の影響で部活動の選択肢が減少するなか、生徒たちが自発的に部活動をつくる動きもあります。名和中学校に通う岡田さんは、ダンス部を友人と設立しました。設立時の動機や苦労、現在の活動について取材しました。

### 想像を超える困難な道のり

ダンス部設立の動機について、岡田さんは「学校には私が入りたい部活動がなかったので、自分の好きなK-POPやダンスに打ち込める場を作ろうと、学校に相談しました」と語る。

しかし、指導者の確保が困難などの理由から、新規の部活動設立を認めてもらうことは、岡田さんが想像していた以上に困難だった。「指導者の確保や活動場所など、地域の人や親などの協力を得て、課題を一つずつ解決していきまし

た」。岡田さんたちの粘り強い努力と、部活動の地域移行を進めたいという学校の狙いがうまく重なり、ダンス部設立が実現した。

### 地道な活動で部員増加

日々の活動内容は顧問に頼らず、岡田さんたちが自分たちで組み立てている。「ストレッチをしながら振り付けを覚えたい曲を言い合うなど、楽しく和やかな雰囲気づくりを意識しました」。



ダンス部キャプテン 岡田彩芭 (いろは) さん

公式の大会はないため、自分たちでダンス披露の場も探す。昨年10月にはイオンダンスフェスティバルに参加し、今年3月には地元の公民館祭りに出演した。

ダンス部設立を通じて得た最も大切な教訓は「諦めないこと」と岡田さんは力強く語る。「くじけそうになったこともありましたが、心からやりたいことだったので諦めませんでした。そのおかげで今があります」。

地道に活動を続けた結果、設立時は3人だった部員が、現在は8人に増えた。この夏で岡田さんたち3年生は引退し、そのチャレンジ精神は後輩たちへ引き継がれていく。



「上級生がまず振り付けを覚え、それを他の部員に伝達する形で練習を進めています。複雑な振り付けをどう表現し、伝えるか。言葉選びの力が鍛えられますね」と岡田さん。



ダンス部顧問 (部活動指導員) 吉森三保子さん

子どもたちの挑戦を応援したくて、顧問をひきうけました。

**まちの話題** **「齧珈琲(カジイコーヒー)」** 国道9号線沿い、バス停(名和駅前)横に令和5年3月に新しくオープンしたカフェ。生クリームが美味しいおしゃれなお店です。営業時間:11時~18時 定休日:火曜日

**まちの話題** **「よしみスタンプラリー」** 町内の図書館(本館・分館)を利用して、スタンプカードにスタンプを集めよう! スタンプ22個で、エコマグカップがもらえます! (8月30日まで。マグカップがなくなり次第終了)

# 町の教育委員会の考えは？ 部活動コーディネーターを直撃

今年度から、教育委員会に新たに配置された部活動コーディネーターに、今後の部活動改革の方向性についてインタビューをしました。



部活動コーディネーターの中嶋さん

活動の問題点をヒアリングしています。7月には県の方向性も固まる予定なので、そこに合わせて準備しています。子どもたちのことを第一に考えてこれから先の取り組みを進めていくつもりです。

「野球部の事例などからも、平日に合同練習をできる環境が子どもから求められています。送迎のサポートなどを考えられませんか？」

「どのようなお仕事をされていますか？」  
この春から着任したばかりで、課題の整理から始めています。地域のスポーツ関係者との意見交換をするなど、中学校の校長にも部

平日の合同練習の要望があることは認識しています。ただ、現実的な問題として、大山町は広いため、送迎する移動時間が長くなってしまう。スクールバスを利用して部活動の送迎を行うのが理想ですが、学校ごとに若干スケジュールが異なるため、整理をする必要があります。また、登下校でスクールバスを使用するタイミングの調整や、運転手の確保も簡

単ではありません。これはバス会社との協議を通じて解決をしないといけないですね。

「送迎バスの実現性はどうですか？」

今の時点では、部活動についてさまざまな課題が山積みとなっており、どの課題から手をつけようか整理をしている段階なので、まだ具体的なスケジュールは決まっています。合同練習をするときに移動手段の話は、避けては通れない課題だと認識しています。

「部活動は全員が入るべきものでしょうか？」

現在、大山町では、部活動は原則全員加入としています。部活動を任意にするべきという議論もありますが、慎重に考えるべきだと思います。仮に部活動に加入しなくても良いとなれば、何割かの子どもたちは未加入で放課後何もせずに家で過ごすことになるのではと懸念しています。

「やりたい部活動がない場合は、子どもにとって苦痛ではないでしょうか？」

めざしている方向性の一つは、できるだけ教員の負担を減らしながら、部活動の選択肢を増やすことです。そのために、学校だけでなく、地域の人の協力も得て活動をつくっていくことを具体的に検討しています。

## 地域の指導者の声



スポ少野球の指導者 逢坂 崇さん

週4日ボランティアで小学生の野球を指導しています。大山町から甲子園で輝く選手を育てるのが目標です。将来的には中学生の部活もサポートしたいです。

## 記者の視点

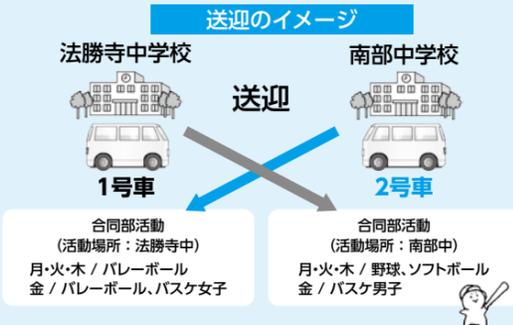
取材を終えて

加藤さんは部活動の加入方針についても次のように説明してくれた。「南部町では今年度から部活動の加入を任意にしました。一番の目的は子どもたちの充実した放課後の活動を保障することです。部活動以外に、社会体育として、空手やクライミングなどに自発的に励む子どもたちもいて、そうした生徒はこれまで部活動にも参加しなければなりません。任意加入への変更は、両校の校長先生の、「子どもたちが放課後の活動を主体的に選べるようにしたい」という思いから生まれました。」

野球部とダンス部の取材から子どもたちが部活動で直面している現実を見た。一方、学校側も、指導者確保に苦慮している。これまでのように教員のボランティアで部活動を支えることは時代に合わないだろう。地域のボランティアを頼るのが、町が予算をかけて指導者を確保するのか。それとも、スポーツクラブや習い事と同じように、会費制にしておくのか。

どの方向をめざすにせよ、忘れてはならないのは、今、この環境に置かれた中学生がいるということ。長期的に解決していく取り組みだけではなく、応急処置も求められる。たとえば南部町のやり方を参考に、すべてでも始められることもある。子どもたちの教育環境を整えるため、もっと動いていきたい。

(小倉)



# 参考事例紹介 南部町の取り組み 平日の合同部活動 公用車で送迎支援

## 南部町の取り組み

- 平日の合同部活動を自治体が送迎
- 部活動加入を任意に

「乗り合わせる部を乗車定員内で収まるよう組み合わせるなど工夫して、各部が週2回程度は合同練習ができるようにしています」と加藤さん。

近隣の鳥取県南部町では、令和5年度から部活動の加入を任意にし、同時に部活動の環境改善にも取り組んでいる。その一環として、平日の合同部活動をサポートするため、公用車による生徒の移送が行われている。

南部町教育委員会の加藤さんによると「南部町では、以前からソフトボールと野球については法勝寺中学校と南部中学校の2校による合同チームでの部活動を行ってきた経緯があります。令和5年度からは、町が運転手を確保し放課後の送迎を行う事業をより多くの部活動で利用できるよう拡充し、生徒の合同部活動・合同練習を支援することとしました」とのこと。

この取り組みの年間費用は運転手の委託料が年間60万円程度と、燃料費などがかかるのみ。車は公用車をそのまま利用している。限



ハイエースは、乗車人数10人以下であれば普通免許で運転できるため、バスよりも運転手の確保がしやすい利点がある。

大山 トリビア 「ダイセンキャラボク」 大山山頂付近に自生するキャラボクは、ダイセンキャラボクと呼ばれています。大規模な群落は大変貴重であり、1947年(昭和22年)に特別天然記念物に指定されています。

大山 トリビア 「トリビアとは」 雑学的な事柄や豆知識のことです。誰かに話してみたくなる、大山や地域のトリビア… みなさんからの投稿も募集しています。

# チエツクします

6月 定例会

# 議案の質疑

6月定例議会は、一般会計補正予算ほか27件の議案を審議しました。町民のみなさんの声とともに、質疑内容の一部を紹介します。



4年ぶりに開催された大山夏山開き前夜祭。アフターコロナの観光振興が期待される。

## アウトドアライフ 官民連携事業

3000万円

大山寺エリアを大山の資源を生かしたアクティビティが楽しめる観光地にするため、アウトドアブランドに関する民間事業者の提案による拠点施設の整備を進める。

**Q** 具体的にどのような施設になるのか。

**A** 2階建ての建物を想定している。具体的な設計は、予算承認後、公募型プロポーザル方式により事業者を選定し、決定する。



矢田浩子さん (ゲストハウス寿庵オーナー)

山と旅と大山が好きで10年前にゲストハウスを開業しました。

大山寺エリアにアウトドアショップが増えていけば、お客さんにとっては、商品をじっくりと比較する楽しみが増えると思います。それにより、参道周辺を歩いてまわる人が増えて、もっと活気ある場所になるのではと期待しています。

**まの話題** 「大山キャンプフィールドGOEN」 大自然を満喫できる豪円山キャンプ場が7月1日、キャンプフィールドGOENとしてリニューアルオープン。問合せは大山ビューハイツ(運営管理事業者)0859-52-2518へ。

## 宅地造成事業補助金

1000万円

移住・定住の促進を目的に、民間事業者による宅地造成を支援し造成を促す。

### ポイント

これまでの、補助単価は一律100万円(1区画)だったが、実績の少ない名和地区の単価を200万円、中山地区の単価を300万円に増額する。

**Q** 中山地区では、これまで補助金活用の実績がなかったが、単価を増額することで宅地開発が進むのか。

**A** 人口減少に危機感を持っている業者もあるので、取り組みに期待したい。



ナスパル団地が完売になり、中山地区で町直営の宅地造成も検討中だが、候補地はまだ決まっていない。

## 電気料金高騰対策給付金

3000万円

高圧または特別高圧の電力契約により電力供給を受けている製造業事業者に、電気料金の一部を支援する。

**給付金額**  
使用電力量 × 3.5円 (令和5年1~5月分)  
上限 500万円(特別高圧)  
200万円(高圧)



製造業は電気代高騰の影響も大きく、これまでのコロナ対策支援も十分ではなかった。

「行政は公正に、政治は弱者のために」が公務員人生の信条でした。



河崎博光さん (松河原)

中山地区は少子化が進んでいて、地域の祭りや伝統行事が次世代に継承できるか心配しています。宅地開発が進まない中山地区に補助を手厚くするのは、地域の格差を埋める素晴らしい施策だと思います。

若者が希望を持って、地域で生活できるようにしていきたいですね。



北脇誠之さん (鳥取ロボーツ株式会社 取締役工場長)

**まの話題** 「ケイコ 目を澄ませて」 世界中の映画祭で絶賛された作品を、なかやま温泉で上映。日本語字幕付き。8月5日(土)午前10時/午後2時、大人1000円。主催:ええがな大山実行委員会(0858-49-3330)

### これまでの補助実績 (H28~R4)

大山地区	4件 / 64区画
名和地区	3件 / 35区画
中山地区	0件

## 物価高騰対策 低所得世帯支援事業

4985万円

電力・ガス・食料品などの物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯など）に対して、1世帯当たり3万円の現金を給付する。

**Q** 給付の時期、対象世帯はどれくらいか。

**A** 8月上旬に対象世帯に通知し、8月下旬に振り込みを予定している。対象者は1600世帯を見込んでいる。

## 保健福祉センターなわ 改築事業

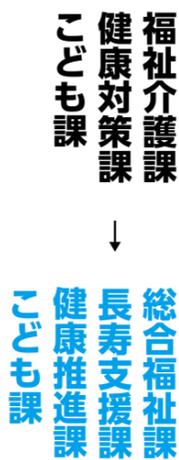
4235万円

新たに設置する「総合福祉課」の事務スペースと来館者の相談スペースを確保するため、保健福祉センターなわの一部を改築する。

《令和6年4月から》

保健福祉センターなわの福祉関係課が3課から4課になります。

現在



**Q** 人口が減少するなか、課を増やす必要性は。

**A** 地域社会を担う人材不足が顕著になっている。切れ目のない相談支援体制を構築するため、専門職を増員し、組織を再編し、課をまたぐ指揮命令系統の整理を考えている。福祉部門全体で4人増を予定している。



阪本京子さん  
(御来屋11区)

昨年から電気代が高くなっているので、(対象世帯への給付金は)喜ばれると思います。

2年前から民生委員をしています。一人暮らしの高齢者さんや心配事のあるご家庭が、地域の中で孤立することがないように、となり近所の声かけや助け合いが大事だと思ってます。困ったことがあったら、気軽に連絡してくださいね。

# あの件はこうなりました

### 申請手続きが簡素化されました

飼い主のいない猫不妊・去勢手術費補助金

### 事業概要

野良猫の増加を抑制するため、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術の一部が助成される。

オス 1万円  
メス 2万円



### 制度改正のポイント

この制度を活用する町民は、地域のために善意で不妊・去勢手術の世話をされます。

制度が利用しやすくなるよう、教育民生常任委員会の議論を経て、補助金申請の手間が簡素化されました。納税確認同意書の提出も不要になりました。

### さらに受診しやすくなりました

脳ドック助成事業

助成額が増えました！

(これまで) 7千円 → 1万円

### 対象年齢

※脳疾患の発症が増える50代、60代で助成(これまで) 50・55・60・65・70歳

① 50～54歳  
② 60～64歳(①②で各1回助成)  
③ 65～70歳(令和5年に限り助成)

教育民生常任委員会の要望を受け、さらに受診しやすくなったんだよ。



## 高齢者補聴器 購入費助成事業補助金

30万円

希望者が多く、当初予算30万円(上限3万円、10人分)が不足する見通しのため、予算を増額する。

**Q** さらに周知すれば、希望者はもっと増えるのではないか

**A** 近隣の耳鼻咽喉科や補聴器認定店でもPRに協力してもらっている。今回の補正額で足りない場合は、また増額を検討したい。



### 大幅増額！

小型除雪機購入費補助事業

### 事業概要

集落・自治会などが除雪作業に使用する小型除雪機の購入費用が助成される。

### 助成金額

(これまで) 購入費用の1/2助成(最大100万円)

← 購入費用の4/5助成(最大100万円)



小集落でも取り組みやすく

**大山 トリビア** 「小泉八雲と中山いさい踊り」 怪談「耳なし芳一」で知られる小泉八雲は、明治23年に大山町に来ています。著書「知られぬ日本の面影」には、妙元寺(下市)で見た盆踊り(いさい踊り)の情景が記されています。

**大山 トリビア** 「名和神社と東郷平八郎」 後醍醐天皇を助けた名和長年公をまつる名和神社。鳥居の横の「別格官幣社名和神社」の社号標は、日本海海戦(日露戦争)で功労のあった東郷平八郎元帥によって書かれています。

# 一目でわかる審議結果

4月臨時会  
6月定例会

○は賛成、×は反対あるいは保留

議案	氏名	小谷英介	西本憲人	豊哲也	島田一恵	池田幸恵	門脇輝明	大原広巳	大杖正彦	大森正治	杉谷洋一	近藤大介	吉原美智恵	岡田聡	野口俊明	結果
<b>条例の制定</b>																
大山町 課設置条例の一部を改正する条例 次年度から、福祉介護課を総合福祉課に、健康対策課を健康推進課に改名し、長寿支援課を新設する																可決 (賛成13人)
<b>請願</b> ※請願とは…国や地方公共団体に意見や要望を行う方法で、議員の紹介が必要である。																
一日も早く選択的夫婦別姓の導入をするよう政府に求める請願 教育民生常任委員会に審査を付託			×													採択 (賛成13人)
大人用おむつの助成に関する請願 教育民生常任委員会に審査を付託									×		×	×	×		×	採択 (賛成9人)
<b>陳情</b> ※陳情とは…その内容が請願と異なるものでないが、紹介議員は必要ない。																
原油・原材料価格・電気料金高騰に対する緊急支援の要望 総務経済常任委員会に審査を付託																採択 (全会一致)
<b>発議案</b> ※発議案とは…議員または委員会が条例の改正、意見書の提出などを議会に提出した議案。																
一日も早く選択的夫婦別姓の導入をするよう政府に求める意見書の提出 請願審査を経て教育民生常任委員会から発議			×													可決 (賛成13人)
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書の提出 陳情審査を経て教育民生常任委員会から発議																可決 (全会一致)
地方財政の充実・強化を求める意見書の提出 陳情審査を経て総務経済常任委員会から発議																可決 (全会一致)
森林環境譲与税配分基準に係る意見書の提出 総務経済常任委員会から発議 ※用語解説参照																可決 (全会一致)

○その他の全会一致で可決した議案  
4月臨時会……専決処分の承認(2件)、工事請負変更契約の締結(1件)、補正予算(1件)  
6月定例会……条例改正(2件)、工事請負変更契約の締結(1件)、補正予算(7件)、農業委員の任命(15件)、陳情(3件)、発議(3件)  
議案などの採決は、米本隆記議長を除く14人で行います。

**用語解説** 「森林環境譲与税」 令和6年度から、森林を守るため、新たに森林環境税が導入され、市町村が個人住民税に1000円上乗せして徴収します。市町村が集めた森林環境税は、一旦、国に納められた後、(以下次ページ)

## 願 査

# 介護用品助成事業の

# 手続き見直しを!

請願者…利用者代表 鉄谷要子  
紹介議員…大原広巳

**請願の内容**  
本町では、介護を必要とする高齢者の在宅生活を支え、その家族の負担を軽減するために、課税されていない世帯を対象に、介護用品の購入を助成しています。

この助成金の支給額の計算方法は、以前は年間一括で計算していたものが月額決定に変更されました。これにより利用者からは利便性が損なわれたとして、以前のように一括で購入できる年度決済へ戻すよう求めるものでした。



## 討 論

採決結果  
賛成9名 反対5名  
賛成多数で採択

**池田議員 賛成**  
介護する人のことを考えた制度にするべきだ。介護は本町に大変なので、その大変さを理解してほしい。

**西本議員 賛成**  
1カ月ごとの助成制度になり、まとめ買いが困難になるなど使いにくい制度になったと聞いている。返金が発生したら、返金してもらえばよいだけの話である。せつかくの制度なのに使いにくかったら意味がない。

**大原議員 賛成**  
この制度の対象者はそんなに多くないので、ちゃんと話を聞く機会もあったはず。大変な状況にある人が使いやすいように、変えていくべきだ。

**門脇議員 賛成**  
介護する人も、介護される人も、みんなにとって最善の選択ができるように願います。

## そのほかの6月定例会で審議した請願・陳情

題名・提出者	本会議の採決結果	担当委員会の主な意見
一日も早く選択的夫婦別姓の導入をするよう政府に求める請願 提出者：新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内淳子	採択	多様性の理解を求める国内世論の流れがある。選択の幅の広がりや対象者の意見を尊重する。
原油・原材料価格・電気料金高騰に対する緊急支援の要望 提出者：大山町商工会 会長 山根均	採択	電気代が1.5倍に上がり、事業者は困窮している。業種に限らない支援の必要性は求めている。
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情 提出者：鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 田中繁(他1名)	採択	本町は少人数学級への取り組みを行っているが、さらなる検討を働きかける事は重要だ。
地方財政の充実・強化を求める陳情 提出者：自治労鳥取県本部 執行委員長 山口一樹、大山町職員労働組合 執行委員長 角田拓朗	採択	労働環境が厳しくなる中、待遇面が改善されない。

**用語解説** 「森林環境譲与税」 (続き) 今度は森林環境譲与税として、国から都道府県、市町村に分配されます。大山町議会では、この譲与税が森林の多い自治体に手厚く配分されるよう国に意見書を提出しました。

# 総務経済 常任委員会

## 公共施設整備の基金残高は適正か？

公共施設整備基金（将来、公共施設を整備するための町の貯金のようなもの）の残額の使い道について、担当課と確認しました。

Q 公共施設整備基金が15億円もある。残しすぎになっていないか。

A 30年後に公共施設の面積を20%削減する目標を達成するために、これからも多くの施設を解体しなければならない。まだ足りない可能性もある（財務課長）

◎令和5年度までに解体などを行っている公共施設

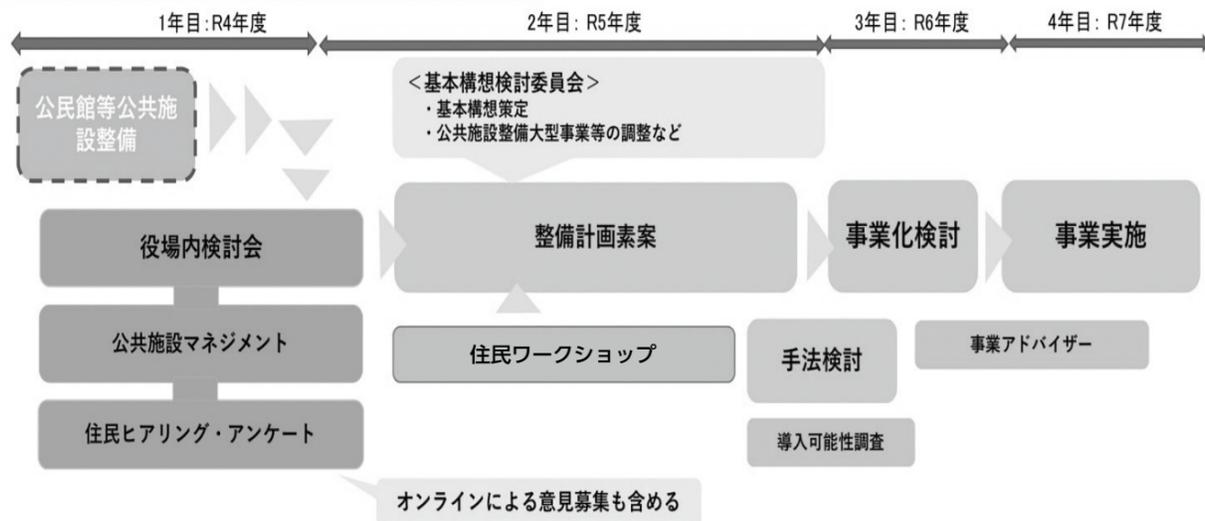
実施年度	施設名	実施方法	解体工事費	延床面積	全施設に占める割合	備考
R2	中山清掃センター	解体	241,890	512	0.4%	解体済
R3	農産物加工処理施設	賃貸		492	0.4%	5年契約で賃貸
R3	旧庄内小学校	解体	82,070	1,337	1.1%	解体済
R4	旧光徳小学校	解体	127,383	2,379	1.9%	解体済
R4	大山小学校（香取分校）	解体	14,245	356	0.3%	解体済
R4	旧下中山保育所（プール解体）	解体	22,000			解体済
R5	中山林業振興センター	解体予定		574	0.5%	



# 教育民生 常任委員会

## 公民館の建て替えをどういプロセスを進めるべき？

老朽化している公民館の建て替え計画について、今後の検討プロセスが提示されました。これまで委員会で要求してきた「住民の意見を丁寧にヒアリングするプロセス」になっているかを確認しました。



**まちの話題** 「ティラノサウルスレース大山」 大山町で日本初開催され話題になった一般参加のティラノサウルスレース(川本直樹さん主催)が、日本イベントアワードのブロンズ賞を受賞。恐竜が走る姿が多くの人々の笑いを引き出したと評価されました。

# 6月定例会

# 常任委員会の活動

## 委員会体制が変わりました！

委員会の構成人数を増やすことで、より深く充実した審議を行います。

今まで



これから



**用語解説** 「常任委員会」 本町議会はほとんどの議案を本会議で審議する本会議中心主義を取っています。そのため、常任委員会（広報を除く）では、主に所管する課の事務調査や請願陳情の審査などを中心に行います。

12人が町長・教育長に一般質問を行いました。

# 一般質問

◆一般質問とは  
議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



お持ちのスマホやタブレットから、QRコードを読み込むと、各議員の質問をYouTube動画でご視聴いただけます。議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます。

ページ	質問事項	質問議員
16	1. 少子高齢化に対する住民と密着した公民館は	杉谷 洋一
17	1. 救える命の輪の拡充を 2. 住民と行政の協働清掃活動	池田 幸恵
	1. コロナ後の観光戦略を問う	吉原 美智恵
18	1. ギガスクール構想に関すること 2. 学校の統廃合や義務教育学校設置に関すること	小谷 英介
	1. 町公民館の活動と今後の在り方は 2. 带状疱疹ワクチン接種に補助を	門脇 輝明
19	1. 水稲を主とした農地保全について	豊 哲也
	1. 生活保護について 2. カスタマーハラスメントの対応について	近藤 大介
20	1. 子育て支援は未来への希望 2. 免許返納した高齢者への支援拡充は 3. 軟質プラスチックは資源ごみに	大森 正治
	1. 電気料金値上げ対策の取り組みは	西本 憲人
	1. 豪華クルーズ船の乗船客受け入れ対策	大杖 正彦
21	1. 農業収入保険加入推進について 2. 夏祭り・秋祭りの再開への支援について	大原 広巳
	1. 大山町のインバウンドの取り組みについて 2. マスコットキャラクターを使っの本町のPR手法について	島田 一恵

## 住民と密着した公民館は 取り組んでいく



杉谷洋一 議員

【杉谷】社会教育分野の中核としての公民館活動は。  
【教育長】学習の機会の提供や地域づくりの支援など、新しく防災の拠点が加わった。地域づくりのため、さまざまな課題解決に向け取り組んでいく。  
【杉谷】地域振興の拠点で、住民主体の地域自主組織「まちづくり活動」に対する認識は。  
【町長】誰もが暮らしやすい地域づくりのため、さまざまな課題解決を考えている。  
【杉谷】老朽化した公民館の今後の方向性は。  
【教育長】検討し方針が

でき次第、住民説明会などを実施したい。また基本構想検討委員会を立ち上げたい。  
【杉谷】パソコン・スマホなどで困った時のよろず相談コーナーを公民館につくれないか。  
【教育長】講座の開設などを予定している。

【杉谷】公民館活動とまちづくり活動の組織は地域の核として必要であり、事業責任の明確化や今後の方向性は。  
【町長】それぞれ異なる部分もあり、同じ部署で所管することも視野に協議を進める。



熱意で支えられる公民館

## アダプト・プログラムの導入を

### 町長 実施要綱の策定を検討する



池田幸恵 議員

【池田】ボランティアなどで行われている清掃活動はどのように周知しているか。  
【町長】自主組織で行われるものは広報だいで紹介している。  
【池田】以前、地元の実業者が通学路の除草作業をボランティアで行ってくれたが、情報を得られなければ感謝の気持ちも生まれない。  
【教育長】清掃活動・美化活動というのは本町の教育での大きな柱の一つと考える。また、ふるさと教育に大きくつながっているものと考えている。  
【池田】町民が公共の場

このほか、骨髄ドナー制度の周知や本町独自の助成制度導入について質問しました。  
町長からは、見直し予定がある県の助成制度を注視し、制度改正後は啓発を行うていくと答弁がありました。

## コロナ後の観光戦略は

### 町長 受け入れ体制の強化を検討する



吉原美智恵 議員

【吉原】観光は裾野の広い産業であり町の活性化の重要な位置を占めている。  
大型客船が境港に寄港する際、本町への来訪は観光コースに入っていない。町内全域の観光誘客の体制作りは急務だ。  
【町長】中心的な役割と機能を担う組織がDMOであり、組織体制や、関係機関との連携を検討している。観光課と大山観光局の役割やあり方の見直しを進める。  
【吉原】「日本遺産」の認定は、外国人観光客が日本各地を巡ること

で地域の活性化に結びつくようにと始まった。大山も「地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」が認定されたが、もっとインバウンドへ生かさないか。  
【町長】歴史的価値の高い文化財などを活用し、インバウンド誘客につながるよう受け入れ体制の強化を検討していく。  
【吉原】ふるさと学習教材の活用と地域の宝を生かす取り組みは。  
【教育長】小学生がガイドとなって観光客に地域のことを紹介する取り組みも再開する予定だ。



地域に愛情を



文化財の有効活用を

# 中学校の統廃合を どう考えるか

**教育長** まずは内部で 議論をしていきたい



【小谷】12年後には中学校の全校生徒は40人程度になる見込みだ。統廃合についてはどのように考えているか。

【教育長】複式学級の水準（2学年で8人程度）になれば統廃合も必要だ。

【小谷】平成20年に、大山町教育審議会は「子どもの教育効果などを考慮して、3中学校を1校に統合するのが望ましい」との答申を出しているが、どのような見解か。

【町長】10年以上前の議論であり状況は変わっている。必要があれば再度、教育審議会に答



江府町の先進事例を聞き取り

このほか、ギガスクール構想に関連し、タブレットの持ち帰り方針を質問した。

教育長は、令和6年度には全校生徒が家庭へタブレットを持ち帰りできる状態を目標として環境整備を進めると回答した。

**町長** 国の動向を確認し 対応を検討する



【門脇】発症予防に有効なワクチン接種の費用を助成する考えは。

【町長】带状疱疹ワクチンは、既に厚生労働省の厚生科学審議会において定期接種化に向けて議論が行われており、ワクチンの安全性などについて検討が進んでいる。

国の定期接種化が決定した後は、町民が速やかに接種を受けられるようにしていきたい。

【門脇】国の動向も大事だが、今年も相当数の人が罹患され、後遺症が残る人もいるという現実を見れば、1人で



疲れやストレスが発症要因に

も2人でも負担が軽減されるように、すぐに取り組むべきでは。

【町長】状況は、よく承知をしている。国のスピード感を確かめなれないといけないが、時間がかかるようであれば、町独自の対応を検討したい。

このほか、公民館の今後の活動とあり方について、住民の意見を丁寧に聞くべきではという質問に対して、教育長は、住民の合意を最優先に考えて事業を進めていきたい、と答えました。

# 大山町産米に

## クーポンを発行しては

**町長** できる範囲で 考えていきたい



【豊】本町の一大産業である、稲作への危機感をどう考えているか。

【町長】農地の保全管理が困難になることを危惧している。

【豊】水稲の新規就農の施策を何か考えているか。

【町長】町独自の支援は必ずかしいが、今後とも諦めずにいろいろな検討を進めていきたい。

【豊】大山町産のお米にクーポンを発行する施策はどうか。

【町長】できる範囲で考えていきたい。

【豊】マーケティング・パッケージ・出口戦略と一気通貫で支援でき



日本人の基盤となる米食

ないか。

【町長】大山恵みの里公社と協議相談をしながら、6次化の支援など必要があれば行いたい。

【豊】JAと連携して、パッケージなどをプランニングしていくのはどうか。

【町長】JAとも話をしたい。

【町長】早くに進めていきたい。

【豊】オーガニックビレッジ宣言の取り組みを、調査の結果をみて進めていくということだったが、その後、進ちよくはどうか。

【町長】早急に進めていきたい。

# 带状疱疹ワクチン 接種に補助を

**町長** 国の動向を確認し 対応を検討する



【門脇】発症予防に有効なワクチン接種の費用を助成する考えは。

【町長】带状疱疹ワクチンは、既に厚生労働省の厚生科学審議会において定期接種化に向けて議論が行われており、ワクチンの安全性などについて検討が進んでいる。

国の定期接種化が決定した後は、町民が速やかに接種を受けられるようにしていきたい。

【門脇】国の動向も大事だが、今年も相当数の人が罹患され、後遺症が残る人もいるという現実を見れば、1人で



疲れやストレスが発症要因に

も2人でも負担が軽減されるように、すぐに取り組むべきでは。

【町長】状況は、よく承知をしている。国のスピード感を確かめなれないといけないが、時間がかかるようであれば、町独自の対応を検討したい。

このほか、公民館の今後の活動とあり方について、住民の意見を丁寧に聞くべきではという質問に対して、教育長は、住民の合意を最優先に考えて事業を進めていきたい、と答えました。

# 本町に

## 福祉事務所の設置は

**町長** 現時点で、 設置の考えはない



【近藤】生活保護制度は、住民の生活を守る最後のセーフティネットである。

一般的に、生活保護の業務は、県や市に設置された福祉事務所にお願いが行われ、町村の業務ではないが、県内のほとんどの町村では、独自に福祉事務所を設置し、生活保護の業務を行っている。

町村で福祉事務所を設置するメリット、デメリットは。

【町長】メリットは、住民にとって、より迅速かつ適切な対応が可能になることや、職員の資質向上もはかれること



福祉事務所が無い大山町

と。デメリットは、社会福祉士など専門職の人材確保が困難なことや職員の精神的負担増、財政的ナリスクなどがある。

【近藤】本町に福祉事務所を置く考えは。

【町長】現時点で、設置の考えはない。

このほか、行政でのカスターマーハラスメント（ひどい暴言など不当な要求）の対応について質問しました。

今後、職員研修の実施や、予防対策マニュアルの整備をするとの答弁でした。

# 免許返納した 高齢者への支援拡充は

**町長** デマンドバスの見直しに着手する



【大森】高齢者が安心して免許返納できる仕組み作りの一つがデマンドバスだが、高齢者からは不満の声がある。課題とその解決は。

【町長】高齢者などの支援としてタクシー助成制度を実施している。

【大森】地域自主組織により運営されているカーシェアリングを町全体に広げないか。

【町長】希望する地域自主組織とは、導入に向けて連携する。

【大森】免許返納者にタクシー運賃の助成をしないか。



共助で運営 カーシェアリング

このほか、子育て支援について、高校生の通学費の全額助成や、国保税の子どもの均等割部分への助成を求めた。

また、軟質プラスチックを可燃ごみではなく資源ごみに位置付けるよう求めた。

# 電力を効率的に 利用する検討は

**町長** 引き続き考えていきたい



【西本】公共施設の電気料金高騰の詳細は。

【町長】令和2年から4年にかけて約1.5倍以上になっている。

【西本】単純計算で元々1億円だったものが、1億5000万円に増えている計算となる。自治体が電気を供給するメリットとして、

①電気代を減らせる。

②送電ロスがなくなる。

③町内で経済循環が生まれる。

④脱炭素の取り組みにつながる。

行政運営でも必要ではないか。

【町長】地域の電力会社と話しているが、各



公共施設にも自家発電を

公共施設の屋根や駐車場にソーラーパネルを設置するなど電気代が減らないかという検討はこれまでもしている。

電機を設置し、その電気を直接使える仕組みを検討できないか。

【町長】どうしたらエネルギー効率良く、電気使用量、使用料金が減らせるか引き続き考えていきたい。

# 豪華クルーズ船 寄港の対応は

**町長** インバウンド獲得の貴重な機会だ



【大杖】入港時に船から見える大山を訪れたいと思う乗船客は多いと思う。本町として積極的に誘客すべきと思う。

【町長】大山観光局でツアー提案をしたが、時間と費用などの観点から、足立美術館や松江方面などが選ばれている。

【大杖】大山の素晴らしい眺望に加え、町内の歴史的な史跡や坐禅・写経・手打ちそば体験、ダウンヒルサイクリングのプラン提供をしてはどうか。

【町長】町内観光名所を知ってもらうだけで



もっと大山町に誘客したい

なく、限られた時間でも地域に一定の消費が生まれるよう、引き続き効果的な周遊体制をPRしたい。

【大杖】祭りなど季節により地域行事を案内するツアーは、乗船客と住民の交流が生まれ地域の活性化に寄与する。

と思うが。

【町長】地域住民にとって、外国人観光客を受け入れることは、異なる文化的価値との交流の機会であり、地域の魅力の再発見につながる。

# 農業収入保険 加入推進へ

**町長** 連携して取り組む



【大原】大口農家はかなり加入されたと思うが、今の状況は。

【町長】青色申告の35%にあたる155件が加入している。

【大原】中小農家の青色申告者を増やして、さらなる加入推進すべきと思うが対策は。

【町長】令和4年から農業共済・JAが推進チームを立ちあげた。各種取り組みが予定されているので協力したい。

普及所との簿記ソフトの入力指導会も続けていきたい。

【大原】他町では、保険料の一部を助成しているところもあるが、本



制度を活用して農家を守る

町では検討しないか。

このほか、コロナ対応で3年ぶりに再開する自治会や地区の祭りなどの交流事業への助成を求めた。町長は、コロナが完全に終息していない状況で助成するのはむずかしい、と慎重な回答だった。

# 今後のインバウンドの 取り組みは

町長 民間事業者の  
支援をしていきたい



しまだ かずお  
島田一恵 議員

【島田】クルーズ船やチャーター便の観光客への集客や対応はできているのか。

【町長】多言語化、宿泊施設の個室化支援などの環境整備はしてきたが、限られた滞在時間のなかで移動手段や時間と費用が課題である。

【島田】ターミナルでPRを出店して、本町の魅力をアピールしないか。

【町長】民間でそのような動きがあれば素晴らしいことだと思う。期待をして積極的に支援はしていきたい。

【島田】インバウンド機



にぎわうターミナルでの出店

このほか、「むきばんだ」のキャラクターの民間利用を可能にできないか質問しました。一定の条件を満たせば、利用料はかかるが、民間利用も可能との答弁でした。

# 米本議長 まちづくり団体との意見交換会での 不適切な言動を謝罪へ

令和5年6月30日、米本隆記議長がまちづくり団体に対して、自身が不適切な言動をしたとして謝罪の場を持ちました。

## 《経緯》

米本議長の不適切な言動は、令和5年3月15日、総務常任委員会が町内のまちづくり団体に出向いて行った意見交換会の際にありました。当該団体からは、4月14日付けで、米本議長の言動が不適切であったこと、さ

らにその後、当該団体の信用を損なうようなSNS発信をしたことについて、議会として適切な対応を求める書面が来ていました。

大山町議会は当該団体からの指摘を受け、議会運営委員会で事実確認や対応を協議した結果、相手を不快にさせる不適切な発言があったことを確認し、議長の謝罪を求めました。(SNSは本人が自主的に削除)

今後は議会全体でSNS活用の勉強会をするほか、議員全員が改めて自らを律し品位を重んじ活動していきたいです。

# あなたの声 が町を動かす

# 議員と語る会



中山会場

5月9日から11日の3日間、中山・名和・大山の公民館で、議員と語る会を開催しました。

3会場合計で40人以上の参加があり、人口減少対策や空き家対策、農業後継者問題、観光振興、地域自主組織の運営など、幅広いテーマにわたって議員と住民の活発な意見交換がされ、大変有意義な会となりました。

今後は、集落や各種団体にでかけての議員と語る会も予定しています。また町の文化祭でも町民の皆さまの声を聴けるようなブースの企画を予定しています。

## 寄せられた意見(一部抜粋)

スクエアなかやま(上屋付き多目的広場)から岩井垣城を経て神社に通じる遊歩道を整備できないか。

町内のウォーキングイベントがいろいろあるが、役場内で連携は取れているか。

議会だよりで、議員の質問に対して町長答弁だけでなく、その後の進展や報告が知りたい。

農業後継者問題があり、持ち主のいない荒れた農地を管理する仕組みを作り、高齢者に安心してほしい。

大山支所の駐車場に照明をつけてほしい。

皆様から寄せられた意見は、議会全体で共有し、委員会や議員活動の中で、精査・検討していきます。

まちの話題 「むきばんだ遺跡土曜講座」 8月26日(土)午後1時30分～午後3時、「最新の調査研究成果から体験メニューができるまで～弥生時代の機織り」、事前申し込み制、問合せ:むきばんだ史跡公園(0859-37-4000)

大山町議会はいままで定員割れの危機には見舞われていませんが、将来的に議員候補が見つからない事態に直面する可能性は否めません。6月定例会の議員討論会では、各議員がこの問題の根本と解消策について、議論しました。

# 議員のなり手不足 回避するには？

## 議員討論会ダイジェスト



議員全員の発言を  
動画で視聴したい方はこちらへ！

西本議員

### 魅力的な 議会づくりを



根本原因は、議会に魅力がないことであり、改革が必要だ。短期的には住民が議会への問題意識を持つこと、長期的には魅力的な議会づくりが不可欠だ。魅力的な議会をつくるには、報酬、人間関係、やりがいの3つの改善が求められる。

吉原議員

### 立候補しやすい 環境づくりを



なり手不足の原因は、議会の魅力が伝わらないこと、報酬の低さ、男女共同参画が進まないことなどがある。また、選挙において応援団づくりがむずかしいといった環境の問題もある。課題を理解し、立候補しやすい環境を作ることが求められる。

大原議員

### 報酬改善と 定数維持を



報酬が焦点だ。昔はあった議員年金もなくなった。本町でも常に定員割れの危機がある。議員定数についても、定数削減をすれば、議員のいない地区が生まれ、その地区の政治離れを加速する可能性がある。

米本議長

### まとめ



報酬問題が議員のなり手不足の大きな要因だが、それだけでなく、他の要因も考慮するべきだと多くの意見が出た。議会改革特別委員会ではこれらの問題を深く議論し、より良い議会づくりをめざすことが重要だ。皆の知恵を活用し、一步一步着実に前に進む議会になっていきたい。

野口議員

### 政治を変え、 若者を引き込む 努力を



議員不足の原因は人口減と考える。30代40代の人が出ればいいが、政治への関心も低く、また、議員報酬だけでは家族を養うことがむずかしい。今は兼業がむずかしく、一般の会社員は議員に出られない。政治を変え、若者を引き込む努力が必要だ。

岡田議員

### 若者や女性が 立候補しやすい 法整備を



地方議員不足の解消には若者や女性の立候補しやすい環境整備が必要である。在職したまま立候補した場合の休暇取得を容易にすることや、議員活動の休暇取得を容易にするなど、法整備が求められる。

門脇議員

### 県会議員並みの 議員報酬を



報酬の低さが主因である。月報酬も低く、4年間の身分保障しかないため、生活設計が難しい。現状の報酬体系では、立候補をためらう30代から50代の中間層が多い。年間報酬を県会議員並みの1000万円程度にすることで、なり手不足は解消されるだろう。

島田議員

### 子育て世帯が 働きやすい 議会環境を



議員のなり手不足は選挙運動の負担、資金調達問題、職務の多忙さから来ている。特に共働き世帯や女性議員にとっては難易度が高まる。子連れの委員会活動参加や柔軟な休暇制度など、女性が議会に参加しやすい環境の整備が必要だ。

近藤議員

### 女性の参画を 促す仕組み づくりを



女性が社会の意思決定の場に参画できる環境づくりが大切だ。兵庫県小野市では、市が主導で行った女性リーダー養成講座の結果、女性議員が大幅に増えた。女性の議会参画には家庭や地域の理解と支援が必要で、自治体が女性リーダー育成を推進すれば環境も整ってくるだろう。

豊議員

### 議員の仕事を絞り、 柔軟な議会の形を



議員の役割は議決、監査、政策提言であるが、前の二つは無報酬でも実施可能な範囲だと考えられる。一方で、政策提言には高い専門性が必要となる。政策提言を議員の仕事から分離することで、デンマークのように議員をボランティアにして、平日の夜や週末に議会を開催するといった形も考えられるのでは。

大森議員

### 議会モニター 制度の導入を



本町の議会ではなり手不足の心配は今のところない。活発な議会活動や開かれた議会の推進、議員と語る会などにより町民の関心が保たれている。しかし、楽観せず、活動の更なる活発化や議会モニター制度の導入、そして議員報酬の引上げなど、具体的対策の考慮が必要だ。

大杖議員

### 女性の政治参加を



男女平等の参画の観点から、もっと女性が政治へ参加することが望ましい。女性が進出しやすいような選挙制度の改革が必要と考える。

杉谷議員

### 議員が講師となり 出前議会講座を



夜間や休日に議会を開くことで、若者や女性の参加が増える可能性がある。議会モニター制度を導入するとともに、議員が講師役を担い学校で議会講座を行うなど、住民が政治に関心を持つ環境を作り出したい。

池田議員

### 生活の中に議会が 入るような仕組みを



なりたい職業に議員が入らないのは、その職務内容や役割が理解されていないからだ。また、女性議員の増加が求められるが、家事との両立が課題だ。生活サイクルの中に議会が入るような仕組みづくりが何より重要だ。

小谷議員

### 100人議会と 7人の侍を



「100人議会と7人の侍」という新しい議会のありかたを提唱する。議員数を16人から100人に増やし、無報酬で多様な属性やグループの住民代表が集い、議決する場とする。7人は専門性と高い見識を活かし、報酬を得て、日々の業として行政との協議や審査を綿密に行う。

大山 トリビア 「大山賛歌 わがこころの山」② 歌詞は公募され、当時、大山中学校3年生だった松田美代子（現在は渡邊）さんの作品が採用されました。渡邊さんは、現在、日赤救急法の指導員として活躍しておられます。

大山 トリビア 「大山賛歌 わがこころの山」① この曲は昭和47年、大山町で開催された冬季国体を記念して作成されました。地域で長く愛唱されているこの曲は、平成27年に大山町の町民歌に制定されています。

# 議員の仕事ってなににするだ?

**討論・採決**  
出された議案に意見があれば討論をして、最終的に予算や条例の可否を判断します。

**開会・議案説明**  
町長から、議案の説明があります。

**質疑**  
説明を受けた議案の疑問点を詳しく聞きます。

**常任委員会**  
2つの委員会に分かれて、より詳しく各事業を調査します。町内の現場にも出て行って状況も確認します。

**一般質問**  
希望議員のみで、テーマを自分で決めて、課題に思っていることや政策提案などをしていきます。

**特別委員会(予算・決算)**  
毎年3月、9月の議会では特別委員会をやっていきます。次年度の予算、前年度の決算を細かくチェックして審査します。

**議員討論会**  
全議員の考えを知る良い機会です。毎年6月、12月の議会では議員討論会をやっていきます。



**6月定例会の流れ**

- 5/31 定例会告示・議案配布
- 6/6 開会・議案説明
- 6/7 質疑
- 6/8~6/14 常任委員会 (4~5日間)
- 6/15 一般質問
- 6/16 一般質問
- 議員討論会 特別委員会 など (1~2日)
- 6/22 討論・採決 閉会

定例会とは3カ月ごとに開かれる本会議のこと。ほかに臨時会もあります。

1人50分一本勝負! 興味あるテーマや議員の質問をYouTubeや大山チャンネルで見よう!



**まちの話題** 「御崎みなと花火大会」 「御崎の滝さん」と親しまれる日御碕神社(大山町御崎)の祭りにあわせ、8月6日(日)、御崎の花火大会が4年ぶりに開催。午後8時からダンスイベントのほか、花火は午後8時30分から打ち上げ予定。

**まちの話題** 「推し活だいせんクラブ」メンバー募集 #自由×面白い×公民館# 募集対象:名和中学校生徒 クラブの中身:大山町の推したいことを自由に考え、実現、発信 申込先:名和公民館(0859-54-2688)

## みんなのひろば どうする？ これからの部活動



遠藤 昇 (坊領)

根気と  
熱意と  
愛情と

私は昭和27年生まれで、今グラウンドゴルフに熱中しています。中学生時代は野球部に所属し、放課後は練習に明け暮れました。当時、顧問の先生はほとんど顔をみせず、キャプテンと上級生が練習内容を決め練習していました。

時々、卒業生の先輩たちが来られ指導していただきました。特に、硬式野球部現役の先輩が来られた日はピリリ状態でした。

現在の大山中学校の状況を聞くところでは、単独チームで試合ができない、指導する顧問の先生方が職

務多忙のため現場に出られないと聞いています。これを打破するのは簡単なことではありません。多忙な先生方をお願いすることは、まずスポーツを好きにならなくてはなりません。好きな事は苦になりません。困難な事でも知恵を出し合い、やれることから実行してください。失敗したらなぜ失敗したのか、原因究明し、対策案を考え実行する。この繰り返しを「根気よく」「熱意」「愛情」をもって前進していただければと期待しています。



徳安 一美 (ナスパルタウン)

今こそ  
地域の  
協力が  
必要

働き方改革が叫ばれるようになって久しい。部活動の顧問の先生も例外ではない。土日の練習や大会の引率など、拘束時間は長く、本当に頭が下がる思いである。

小学校は、部活動をはじめとする課外活動の多くを取りやめ、地域に

委託してきた。それも一つの解決策ではあるが、個人的には学校教育の中で行う意義も大きいと思う。

例えば、部活動には全ての子どもが無償で入部できる。自分のしたいことや、その時期にしかできないことに思いきり挑戦できる場が部活動

だと思う。全ての子ども達に幅広く学びの機会が保障されることは大変重要である。

部活動の運営に、今こそ地域の協力が不可欠である。大山町には、高い技術力をもち、人間性豊かな大人がたくさんいる。学校とうまく役割分担をして、バランスよく子ども達の成長を支えていけたらと感じている。



藤田 修 (ひかりが丘)

知恵を  
絞る  
地域移行  
も

少子化や教職員の過重労働の実態に、文部科学省もようやく学校改革に本腰を入れ始めました。やや遅すぎる感もありますが、子どもたちの明るい未来のためにしっかりと取り組んで欲しいと思います。

論点の一つに部活動のあり方が挙げられています。方向性としては学校中心から地域社会との流れのようです。文化系にせよ体育系にせよ、日本のように学校教育の環に位置付けている国は世界では少数派だから。

明治以降、学校中心で行われてき

た部活動には多くの功績もありますが弊害もありました。そこに地域の教育力や技能、技術等を取り入れることは、子どもたちの能力開発や居場所作りに大いに役立つことでしょう。

これらの施策を進める上では、平日と休日の指導者の連携、学校行事と対外行事の調整等、課題も色々あります。大人たちが知恵を絞って、子どもたちのより良い活動環境を作りたいものです。

### 紫陽花に彩られる佐摩のトレセン

## あとがき

この号より広報常任委員会の委員長を小谷議員にバトンタッチしました。

振り返ってみるとこの2年間で広報編集作業にタブレットが導入され、印刷会社とのオンライン会議も導入されました。新しいことを取り入れるのは大変でしたが、これにより編集作業や編集時間が大きく変わりました。

新委員長のもと、さらに読みたくなる議会だよりに取り組んでいきたいと思えますのでよろしくお願いたします。

池田

- 発行責任者 議長 米本 隆記
- 広報常任委員会
- 委員長 小谷 英介
  - 副委員長 近藤 大介
  - 委員 吉原美智恵
  - 委員 大森 正治
  - 委員 池田 広巳
  - 委員 池田 幸恵
  - 委員 豊 哲也
  - 委員 西本 憲人